

平成 22 年度 第 1 回常任理事会開催

下記のとおり、平成 22 年度第 1 回常任理事会が開催され、次の案件を協議した。

記

1. 日 時 平成 22 年 4 月 21 日 (水) 13:30~15:30

2. 場 所 (社) 日本機械土工協会・会議室

3. 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

1) 第 33 回通常総会の議事内容について

① 平成 21 年度事業報告と決算について

② 平成 22 年度事業計画 (案) と予算 (案) について

③ 任期満了に伴う役員改選について

2) 厚生労働省委託事業「ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業」(訓練実施事業)の受託について

4. 出席者

(敬称略)

会 長	向 井 敏 雄	向井建設(株)	会 長
副会長	森 實 裕	玉石重機(株)	会 長
常務理事	保 坂 益 男	協会・事務局長	
常任理事	宮 本 茂 茂	(株)宮本組	社 長
"	壺 山 和 憲	壺山建設(株)	社 長
"	足 立 民 雄	国土開発工業(株)	社 長
"	川 村 尚	水谷建設(株)	執行役員
"	梅 原 秀 夫	静岡県重機建設業 (工)	理事長

5. 協議の概要

向井敏雄会長が「本日は理事会の委託を受けて、来年度の予算等を審議していただくこととなります。会員の経済状態が極めて厳しいことがあって、また協会の維持存続を図るために、22年度の予算事業計画についてはタイトな予算を組み、企業にとって真に必要な、お役に立つ事業をやるよう絞り込んでおります。色々ご意見がお有りだと思いますので、忌憚のないご発言をお願いします。」と発言したあと議長席についた。

議 事

1) 第 33 回通常総会の議事内容について

① 平成 21 年度事業報告と決算について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が「資料-1 (平成 21 年度事業報告書、平成 21 年度決算書)」に基づき以下の通り詳細な説明をした。

事業報告

ア. 総務委員会

- ・ 団体定期保険の加入社数 33 社、1793 名、保険金額 37 億円
- ・ 損保保険の新たな加入社数 14 社

- ・厚生年金基金の加入者 3660名、年金資産総額191億円
- ・協会の会員数 107社、会費納入額25,250千円
- ・海外建設研修生・実習生の受入れ研修実施数 21名
- ・平成21年春・秋の叙勲受章者数 旭日双光章1名、瑞宝単光章2名

イ. 合理化委員会

- ・第32回経営研修会を開催 平成22年2月3～4日、70名参加
- ・合理化相談の開催数 10回、海外施工部会の開催数 6回
- ・下請資金繰り支援事業の設立陳情をした
- ・ワンストップサービスセンター、駆け込みホットラインの窓口運営
- ・顧問に本会の基本に関する事項について調査研究を依頼した

ウ. 技術委員会

- ・情報化施工ワーキンググループを開催
- ・最新建設機械施工現場見学会を開催 10月29～30日 25社35名参加
- ・1・2級建設機械施工技術検定試験
 - 学科受験準備講習会を開催 2会場、計110名受講
 - 実地受験準備講習会を開催 13会場、計702名受講
- ・(社)土木学会の表彰制度・技術功労賞に該当者1名推薦
- ・協会手帳を発行
- ・自走式土質改良機施工便覧を発行

エ. 労働安全委員会

- ・雇用改善カレンダーを作成しホームページに掲載
- ・優秀功績従事者表彰(会長表彰)を実施 3部門、計54名
- ・作文コンクールを実施 12月7日表彰式 応募50編、入選9編
- ・ジョブ・カード(活用モデル)事業を実施 機械土工工事科標準3コースを設置
- ・登録機械土工基幹技能者講習(登録、特例)を実施 11会場、計393名修了
- ・富士教育訓練センターを活用し教育訓練を実施 27コース、述2155人日
- ・優秀施工者国土交通大臣顕彰を受章 5名
- ・海外建設技術・技能研修生受入れ研修を実施

オ. 構造改善推進委員会

- ・第6次(平成19～21年度)機械土工工事業構造改善計画の事業実績を報告
- ・第7次(平成22～24年度)同上計画の全体計画及び22年度計画を策定
- ・構造改善事業の実施に関する助成措置・支援事業を紹介

カ. 企画特別委員会

- ・施工単価、契約の適正化、業界の近代化に関する事項の検討と結果を報告

キ. 安全・環境対策事業

- ・建設の施工の環境・安全対策委員会 建設機械施工の安全対策検討分科会出席
- ・同上検討分科会評価項目検討WG出席(国土交通省)

ク. 国際交流事業

・中国浙江省建設投資集团有限公司等2機関来日 意見交換

決算

決算については、平成年21度決算に基づき、当期収入の合計額は111,579,589円、支出額は110,010,632円、差異1,568,966円であった。なお、差異は22年度一般会計に繰り入れたい。また、当常任理事会で総会資料が承認されると、4月28日に監査を予定している、と説明した。

議長は議場に質疑を促したあと、案件について承認を求めたところ、出席者全員異議なく案件を承認した。

② 平成22年度事業計画（案）と予算（案）について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が平成22年度事業計画書（案）並びに予算（案）（資料-2）に基づき平成22年度事業計画について、日機協共済制度「団体定期保険」をはじめ登録機械土工基幹技能者の育成事業などについて詳細な説明をした。

また平成22年度予算（案）について、1・2級建設機械施工技士の資格取得のための準備講習会などで、当年度収支合計90,605,800円の予算内訳を詳細に説明した。

議長は議場に質疑を促した後、案件について承認を求めたところ、出席者全員異議なく案件を承認した。

③ 任期満了に伴う役員の改選について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が、定款12条に定める理事数（資料-3）に基づき、恒例として理事、監事、評議員等の候補者について、各支部等の事情を勘案し、理事会が候補者を総会に推薦する方式が取り入れられているが、今回もそのようにしたいと説明した。

議長は議場に質疑を促した後、案件について承認を求めたところ出席者全員異議なく案件を承認した。

2) 厚生労働省委託事業「ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業」（訓練実施事業）の受託について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が平成22年度「ジョブ・カード制度」普及のためのモデル事業（訓練実施事業）の受託について（資料-4）に基づき、厚生労働省より、標題の事業を720万円で受託した。前年度に引き続いて同上事業を実施したい、と説明した。

議長は議場に質疑を促した後、案件について承認を求めたところ、議場は満場一致で案件を承認した。

議長は、以上で予定された案件全てを協議したと発言し、同協議結果を5月24日に開催される理事会に報告し了承を得る予定である、として出席者に謝意を表したあと閉会を宣した。

この議事録が正確であることを確認して、議長は記名捺印する。

平成22年4月21日

議長(会長) 向井敏雄